

平成 29 年度 事業報告書 (案)

① 学術講演会等の開催 (公益目的事業 1)

- ・平成 29 年度通常総会を下記のとおり行った。

日 時 平成 29 年 6 月 9 日
場 所 牛込筆筒区民ホール (東京都新宿区) 参加者数 899 名
議 案 平成 28 年度事業報告および同決算報告
平成 29～30 年度役員の選出

- ・平成 29 年度総会シンポジウム (同日開催) を下記のとおり行う

日 時 平成 29 年 6 月 9 日
場 所 牛込筆筒区民ホール (東京都新宿区)
内 容 シンポジウム 3 題
参加者数 137 名

- ・日本食品衛生学会・日本食品微生物学会・日本食品化学学会主催

「ifia JAPAN 2017 食の安全・科学フォーラム 第 16 回セミナー&国際シンポジウム」

を下記のとおり行った。

日 時 平成 29 年 5 月 24 日
場 所 東京ビッグサイト
内 容 グローバルマーケットにおける食品のトータルな安全管理
第一部 世界の食品安全管理
第二部 日本から安全な食品を世界に発信するには
参加者数 120 名

- ・ifia JAPAN2017 において基調講演を行った。

日 時 平成 29 年 5 月 26 日 16:00～16:20
場 所 東京ビックサイト 食の安全・科学ゾーン かび毒セッション会場
基調講演 「マイコトキシンの国際的動向」

- ・第 1 回分析セミナーを下記のとおり行った。

日 時 平成 29 年 9 月 7 日
場 所 幕張メッセ国際会議場 104 号室
テーマ 食品安全の新展開：実用スクリーニング分析法
演題数 4 題
参加者数 72 名

- ・第113回日本食品衛生学会学術講演会を下記のとおり行った。

開催日	平成29年11月9日、10日		
場 所	タワーホール船堀（東京都・江戸川区）		
学術講演会	一般演題	口頭発表	38題
		ポスター発表	87題
	受賞者講演		3題（学会賞1件、奨励賞2件）
	教育講演		3題
	参加者数		約650名
懇親会	参加者数		約220名

- ・第20回特別シンポジウムを下記のとおり行った。

開催日	平成30年2月27日
場 所	東京家政大学三木ホール
テーマ	食の常識を科学する～東京オリンピックパラリンピックに向けた食品リスクとグローバル化
演題数	4題
参加者数	96名

- ・関連学会等との共催、協賛および後援を下記の通り実施した。

共催 なし

協賛 ifia JAPAN 2017 -第22回国際食品素材/添加物展・会議 HFE JAPAN 2017-第15回ヘルスフードエキスポ（2017.5.24-26）、日本包装学会第26回年次大会（2017.7.11-12）、第58回機器分析講習会 第2コース：HPLCとLC/MSの基礎と実践（2017.7.26-28）、フォーラム2017 衛生薬学・環境トキシコロジー（2017.9.1-2）、第24回日本免疫毒性学会学術年会（青森,北里大学獣医学部）（2017.9.4-5）、標準化と品質管理全国大会2017（2017.10.11）、第53回熱測定討論会（2017.11.2-6）、第15回食品安全フォーラムプログラム（2017.12.1）、新アミノ酸分析研究会第7回学術講演会（2017.12.4）

後援 なし

② 学会誌等の発行（公益目的事業2）

- ・学会誌等を下記のとおり発行した。

食品衛生学雑誌（6冊）	第58巻2号～6号	発行部数	2,050部
	第59巻1号	発行部数	2,150部
食品・食品添加物規格基準(抄)		発行部数	1,000部
第113回学術講演会要旨集		発行部数	1,000部

③ 研究業績に対する表彰（公益目的事業3）

・平成29年度日本食品衛生学会賞等授賞式を第113回学術講演会において行った。

「学会賞受賞者」

小西良子(麻布大学)

「食品を汚染する真菌性および寄生虫性危害要因の検出法開発とリスク評価に関する研究」

「奨励賞受賞者」

阿部 裕(国立医薬品食品衛生研究所)

「乳幼児玩具および食品用器具・容器包装に含まれる化学物質の実態調査に関する研究」

吉成知也(国立医薬品食品衛生研究所)

「フザリウムトキシンの分析法の開発および汚染実態調査に関する研究」

・食品衛生学雑誌第57巻論文賞授賞式を第113回学術講演会において下記のとおり行った。

「陰膳方式によるトータルダイエツト試料中放射性セシウムおよび放射性カリウム摂取量推定および経年変化（2011～2014年度）（報文）」第57巻第1号 p.7～12
廣川大志郎 大森聖太 西村紀明 吉田和郎 和田伊知朗 山越昭弘*（日本生活協同組合連合会 商品検査センター）

「食品中自由水に含まれるトリチウムの共沸蒸留による分離・分析法（報文）」第57巻第4号 p.81～88 曾我慶介* 亀井俊之 蜂須賀暁子 最上（西巻）知子（国立医薬品食品衛生研究所）

「HPLCによる乳幼児用粘土から溶出する着色料の分析（報文）」第57巻第5号 p.139～149 岸 映里* 尾崎麻子 大嶋智子 山野哲夫（大阪市立環境科学研究所）

④ 若手研究者育成事業（公益目的事業4）

・平成29年度厚生労働科学研究（食品の安全確保推進研究事業）の補助事業者として若手研究者（リサーチ・レジデント）1名を継続採用した。

平成29年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告に内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。